

第6回 伊勢「神宮奉納弓道大会」実施要項（案）

1 大会開催の趣旨

伊勢の神宮弓道場は、昭和38年創設以来、全日本弓道選手権大会（天皇盃・皇后盃）・全日本学生弓道王座決定戦・全日本実業団弓道大会など、弓道の最高峰の大会会場として、幾多の歴史を刻んできた。

本大会は、神宮弓道場の的前に立ち、弓道技能の向上と弓友相互の親睦を図り、弓道の発展に寄与することを目的とする。

2 主催 伊勢神宮崇敬会

3 後援
(申請中含む) 神宮司廳
公益財団法人全日本弓道連盟
伊勢商工会議所
伊勢市観光協会
伊勢志摩観光コンベンション機構
伊勢市
伊勢市教育委員会

5 主管 神宮奉納弓道大会実行委員会

6 期日 令和6年7月5日（金）～7月6日（土）

7 会場 神宮弓道場 三重県伊勢市宇治中之切町152-1
電話 0596-24-7162（伊勢神宮崇敬会）

8 競技種目 近的競技

9 競技種類 個人競技

10 競技種別 有段者の部・称号受有者の部

11 競技内容 予選（奉射）：的中制（坐射・直径36cm霞的）
決勝：的中制（坐射・直径24cm星的）

12 競技日程

7月5日（金）		
受付	9：30～14：00	神宮会館（1階ロビー）
公開練習	10：00～14：00	神宮弓道場（近的場）
神宮参拝・神楽奉納	15：00～16：30	神宮神楽殿・神宮正殿
開会式	17：30～17：50	神宮会館（講堂）
夕食	18：00～19：30	神宮会館ラウンジ（4階）
7月6日（土）		
早朝参拝（希望者）	6：00～8：00	神宮会館前集合
矢渡	8：40～8：55	神宮弓道場（近的場）
予選（奉射）	9：00～	神宮弓道場（近的場）
決勝（競射）	14：45～	神宮弓道場（近的場）
閉会式（表彰式）	15：50～	神宮弓道場（近的場）

13 競技方法

- 予選は、各種別とも奉射（一手・坐射）を行う。
- 奉射は、4人立2射場「審査における行射の要領」にて行う。
- 決勝は、奉射皆中者による射詰競射（直径24cm星的）にて優勝を決める。的中を逸した場合は、優勝決定以外は遠近競射（直径36cm霞的）にて順位を決定する。（*奉射皆中者に記念品を授与：先着30個）

14 表彰等

- 各種別、優勝～5位に賞状・賞品を授与する。
- 参加者全員に記念品を贈呈する。

- 1 5 参加資格 (1) 初段以上の有段者および称号受有者。
*大会の参加種別は、参加申込時のものとする。
(2) 各都道府県弓道連盟（地連）に加盟する一般会員であること。
(3) 本大会は、大会役員および競技役員も参加できる。
- 1 6 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに大会実施要項による。
- 1 7 参加申込 (1) 別添「参加申込フォーム操作説明」の手順で必要事項を記入し送信する。
【参加申込フォーム URL】 <https://forms.gle/UjYdNkViAYL5zYQQ9> 【参加申込フォーム二次元コード】

(2) 代表者のアドレスに「Google フォーム」から確認メールが届くので、入力内容に誤りがないか確認する。
(3) 締切り 令和6年5月10日（金）送信分までとする。
- 1 8 参加人数 有段者の部・称号者の部を合わせて200人程度とする。
*申込多数の場合は、主催者による抽選で決定する。
*抽選は、「参加申し込み単位」で行うため参加定数に増減がある。
*抽選結果等は、参加申込書記載の代表者メールアドレス宛に連絡する。
(アドレスの入力誤り等による不着に対する苦情等は受け付けない)
*参加決定者は、返信メールに記載の期日までに参加費等を振り込むこと。
- 1 9 参加費 20,000円
*大会参加費・神楽料・神宮会館宿泊費（5日夕食・6日朝食・昼食付）
・施設使用料等のすべてを含む
*振込先は、参加決定の返信メールに記載する。
*参加費等振込後の返金を行わない。
- 2 0 その他 (1) 大会での服装は、和服または弓道着とし、受付で配付するゼッケンを右腰前に付けること。（和服の場合は、本座にて肌脱ぎ・襷掛けを行う。「控え」での事前準備も可とする）
(2) 参加者および大会役員は、神宮参拝（御垣内）・神楽奉納を行う。
*神宮参拝時の服装については、正装とする。
<男性> スーツ・ブレザー（ネクタイ着用）、和服（羽織・袴着用）
<女性> スーツ等フォーマルな服装（ネクタイ不要）
和服（格は問わないが浴衣は不可、羽織・袴の着用不要）
*弓道着では御垣内に入れないので、外からの参拝となる。
(3) 問い合わせは、大会実行委員会事務局まで
【大会事務局】 〒516-0028 三重県伊勢市中村町 325-517
浦野 雄二
携帯電話 090-5101-3964
メール yuji_kyudo@yahoo.co.jp
- 2 1 注意事項 (1) 神宮会館の駐車台数に限りがあるため、乗り合わせか、できる限り公共交通機関を利用のこと。
(2) 受付は、必ず本人が行なうこと。
(3) 開会式には、原則として全員参加すること。
(4) 第3控で不在の場合は、棄権とみなす。
(5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
(6) 参加者は、健康保険証を持参のこと。
- 2 2 映像等の取り扱いについて
個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して撮影・配信等を中止すること。
なお、申込書の提出により、次の関係資料の取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
(1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（名前、所属地連、称号・段位）
(2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（名前、所属地連、称号・段位、写真、動画）
(3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

神宮奉納弓道大会 参加申込フォーム操作説明

※ 参加申込フォームは、パソコンやスマートフォン等の端末から操作できます

1 参加申込フォームを開く

【参加申込フォーム URL】

<https://forms.gle/UjYdNkViAYL5zYQQ9>

もしくは

【参加申込フォーム二次元コード】



から参加申込フォームを開く



第 6 回神宮奉納弓道大会 参加申込フォーム

<申込みにあたってのお願い及び留意事項>

※ 申込フォーム1つにつき、4人（申込者①～申込者④）まで申し込めます。
（他の参加申込フォームとの重複申込不可）

※ 申込者多数の場合の抽選は、申込フォーム単位で行います。

・ 抽選結果を以下に入力いただいたメールアドレスあてお知らせします。

・ メールアドレスは、パソコンメールのアドレス（@yahoo.co.jpや@gmail.com等のフリーメールのアドレスは可）を入力してください。

・ 携帯メールのアドレス（@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp、@softbank.ne.jp、@i.softbank.jp等）には、返信メールが届かない場合があります。

・ 神宮奉納弓道大会実行委員会事務局のアドレスからメールを送信しますので、

2 「申込みにあたってのお願い及び留意事項」に記載の内容を確認する

3 申込代表者の情報を入力する

メールアドレス*	XXXXXXXX@yahoo.co.jp
申込代表者名*	〇〇 〇〇
申込代表者の電話番号* *日中に連絡がつく電話番号（携帯番号等）	090XXXXXXYY

4 申込者①の情報を入力する

申込者①* (名前のふりがな)	〇〇〇 〇〇〇
申込者①* (性別) *部屋割りに必要なため	男
申込者①* (称号段位) *申込日現在	錬士五段
申込者①* (所属地連)	三重県

* 続けて、申込者②～申込者④の情報を入力する

5 申込人数分の情報を入力後、「送信」ボタンを押下する

回答のコピーが指定したアドレスにメールで送信されます。

送信 フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

 reCAPTCHA
プライバシー利用規約

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。不正行為の報告・利用規約・プライバシーポリシー

Google フォーム

6 代表者のアドレスに「Google フォーム」から確認メールが届くので、入力内容に誤りがないか確認する

[「第6回神宮奉納弓道大会 参加申込フォーム」](#)にご記入いただきありがとうございます

フォームの回答

回答を編集

第6回神宮奉納弓道大会 参加申込フォーム

<申込みにあたってのお願い及び留意事項>

- * 「Google フォーム」から確認メールが届かない場合は、入力いただいたメールアドレスに間違いがありますので、再度「参加申込フォーム」を開き、入力しなおしてください。
- * 送信した内容を変更する場合は、「Google フォーム」から届いた確認メールの「**回答を編集**」を押下し、修正のうえ、再度「送信」を押下してください。
- * 「新しい回答を記入」という表示は押下しないでください。押下すると、新規入力画面となってしまいます。



第6回神宮奉納弓道大会 参加申込フォーム

<申込みにあたってのお願い及び留意事項>

回答を編集しています。この URL を共有すると、他のユーザーもあなたの回答を編集できるようになります。

新しい回答を記入

第6回 伊勢「神宮奉納弓道大会」大会要領

1 参加資格について

- (1) 初段以上の有段者および称号受有者とします。
- (2) 各地連に所属の一般社会人とします。
- (3) 高校生以上の一般会員（部活に所属していない）については、保護者同伴であれば、参加を認めます。保護者の認める引率者との参加も認めます。

*広く交流・研鑽の場とするため、幅広く参加を募ります。

2 参加人数について

- (1) 有段者の部・称号者の部を合わせて200人程度とします。
*「大会会場」及び「宿泊施設」の関係から参加人数を制限しています。
- (2) 応募多数の場合は、抽選とします。
*抽選は、実行委員会で行います。結果は、抽選後に申込みメール宛に通知します。

3 参加費について

- (1) 参加費 20,000 円については、【大会参加費・神楽料・神宮会館宿泊費（夕食・朝食・昼食（8日）含む）・施設使用料】のすべてを含んでいます。

4 宿泊・駐車場について

- (1) 神宮参拝（御垣内正式参拝）・神楽奉納や早朝参拝などを行いますので、神宮会館の宿泊施設を利用するの、大会となります。
- (2) 宿泊予約は、実行委員会で行います。
- (3) 神宮会館での宿泊は、2～4人程度の相部屋になります。感染予防のため家族・申込グループ単位の部屋割りを行います。
- (4) 単独申し込みの方は、他地区の方々と複数になります。
- (5) 宿泊の部屋割りは、実行委員会で行います。
- (6) 神宮会館の駐車場台数に限りがありますので、乗り合わせか、できる限り公共機関をご利用ください。

5 神楽奉納・御垣内参拝について

- (1) 参加者は、7月5日（金）午後3時から神宮神楽殿で神楽奉納の後に、内宮正殿にて、御垣内正式参拝を行います。
- (2) 神宮参拝時の服装は、正装とします。
*男性は、スーツまたはブレザーで、ネクタイ着用
*女性は、スーツ等フォーマルな服装とします。
和服の場合は、
*男性は、羽織+袴を着用
*女性は、羽織と袴は、いりません。
弓道着や軽装の方は、御垣内に入れません。
*正殿外からの参拝となります。

6 その他

- (1) 大会期間中は、熱中症や感染予防に努めてください。
- (2) 前泊・後泊希望の方は、直接神宮会館に電話で申し込みしてください。
→ 申し込み時には、「奉納弓道大会参加者」と教えてください。
*神宮会館 電話 0596-22-0001

問い合わせは、 **【大会事務局】** 〒516-0028 三重県伊勢市中村町 325-517
実行委員長 浦野 雄二
携帯電話 090-5101-3964
メール yuji_kyudo@yahoo.co.jp

令和6年3月1日

参加者各位

伊勢神宮崇敬会
神宮奉納弓道大会実行委員会

第6回 伊勢「神宮奉納弓道大会」のご案内

この度、第6回伊勢「神宮奉納弓道大会」を、令和6年7月5日（金）・6日（土）に伊勢神宮弓道場において開催いたします。

つきましては、全国弓友の皆様方に多数ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。別紙「大会実施要項」をご覧ください、ご応募ください。

本大会に参加されました皆様方からは、大会の趣旨に共感をいただき、「神宮弓道場で弓を引けてよかった」「全国の弓友と交流できてよかった」という声をたくさん頂いております。

伊勢神宮弓道場に刻まれた歴史と先人の研鑽の息吹を肌で感じていただき、本大会が全国弓道人交流の場として親しまれ、これからも永く続くことを願っています。

*大会日程及び施設規模の関係で、大会参加募集人数を200人程度といたします。申し込みが定員を超えた場合は、抽選となりますのでご承知ください。

【神宮弓道場の歴史と大会開催の経緯】

伊勢神宮弓道場は、神宮・伊勢神宮崇敬会・全日本弓道連盟・全国の各企業・団体など、多くの方々の熱意とご尽力により、全国に誇る規模と設備の整った弓道場として、昭和38年に完成いたしました。

その後「全日本弓道選手権大会（天皇盃・皇后盃）」や「全日本学生弓道王座決定戦」また、「全日本実業団弓道大会」など、数多くの全国大会が開催され、弓を志す方々の活躍の場として親しまれてきました。また、全国各地から企業・大学・高校の弓道部の合宿研修の場としても活用されています。

「一度は、伊勢神宮弓道場で弓を引いてみたい」という全国の弓道人の思いを受けて、神宮奉納弓道大会実行委員会を組織し、令和元年7月6・7日に第1回伊勢「神宮奉納弓道大会」開催の運びとなりました。

第1回伊勢「神宮奉納弓道大会」は、募集定員250人のところ全国から400人を超える応募をいただき、抽選となりました。

また、令和2年の第2回・令和3年の第3回大会は、新型コロナウイルス感染拡大による「全国緊急事態宣言」発出のため、参加者募集途中で残念ながら2年連続の「中止」となりました。

令和4年の第4回大会開催にあたりましては、感染予防対策として募集人数を120人に減らし、皆様のご理解とご協力のお陰で実施することが出来ました。第5回大会は、感染症の扱いが第5類に移行したため、募集人数を200人として開催しました。

また、令和5年は、神宮弓道場創設60周年に当たり、還暦を迎えた神宮弓道場の記念大会として開催することが出来ました。